

令和三年度 一橋大学商学部学校推薦型選抜試験問題

【推薦小論文】

以下の課題文は、ジョン・マクミラン著・瀧澤弘和・木村友二訳『市場を創る…バザールからネット取引まで』（二〇〇七年、三三出版）からの抜粋です（ただし、問題作成上、節のタイトル形式を変更し、注を削除しています）。この文章を読んで、次の四つの設問に答えなさい。

設問（1）傍線部①「市場とともに文化が発展した。」という点について、筆者はなぜそのように考えているか、二五〇字以内で説明しなさい。

設問（2）傍線部②「競争は個々の市場参加者の力を抑制し、ほとんどの市場において、個人が全体の結果を左右しないようにしている。」という点について、筆者はなぜそのように考えているか、二五〇字以内で説明しなさい。

設問（3）傍線部③「それが市場経済と呼ばれるのは、これらの非市場的な取引でさえ市場の文脈の中で行われているためである。」について、「これらの非市場的な取引」の内容を明らかにした上で、筆者はどのように考えているか、四〇〇字以内で説明しなさい。

設問（4）傍線部④「市場経済は唯一の自然な経済であり、理にかなった唯一のものであり、唯一繁栄をもたらすものである。」という意見について、あなたはどのように考えるか。あなたの立場を四〇〇字以内で説明しなさい。

【課題文】

著作権保護の
観点から、
公開していま
せん。

著作権保護の観点から、公開していません。

著作権保護の観点から、公開していません。

著作権保護の観点から、公開していません。

著作権保護の
観点から、
公開していま
せん。

著作権保護の観点から、 公開していません。

- (1) 「上位1パーセントの所得シェアがほとんど拡大していないからといって、日本の格差問題が深刻化していないとはいえない」という立場に立って、近年の日本ではどのような格差問題が深刻化しているかを例を挙げながら説明しなさい。またその解決策を提示しなさい。(800字以内)
- (2) 「日本で上位1パーセントの所得シェアが停滞しているのは決して望ましいことではなく、むしろ日本の経済・社会に存在する問題点の現れである」という立場に立ち、それがどのような問題点かを、例を挙げながら説明しなさい。またその解決策を提示しなさい。(800字以内)

【参考文献】森口千晶「日本は「格差社会」になったのか：比較経済史にみる日本の所得格差」『経済研究』Vol.68, No.2, pp.169-189 (2017)

令和3年度 一橋大学法学部学校推薦型選抜 試験問題

【推薦小論文】

以下の課題文は、小坂井敏晶『責任という虚構』（東大出版会、2008年）からの抜粋です（ただし、問題作成の都合上、表記の仕方などは適宜変更を加えています）。これらの文章を読んで、次の2つの設問に答えなさい。

設問1 下線部1について、ハンナ・アーレントが「悪の陳腐さ」という言葉で表現したかったのは、どのような内容であると考えられるか。400字以内で説明しなさい。

設問2 下線部2について、著者（小坂井敏晶）の立場からすると、このような結果が出た理由をどう説明することになるか。また、その立場からの説明について、あなた自身はどう考えるか。800字以内で述べなさい。

著作権保護の観点から、
公開していません。

著作権保護の観点から、
公開していません。